

学校だより 令和2年1月10日号



# やなぎつこ

北九州市立大里柳小学校 校長 松中 保明

【学校教育目標】：これからの社会を生き抜く3つの視点…「自律」「協働」「創造」  
「SDGsの視点を基に大里柳小の特徴を生かしながら、  
確かな資質・能力を獲得し、自ら学び続ける人間性豊かな児童の育成」

【目指す子どもの姿】：6つの好き「友達・先生・柳校・柳のまち・学ぶこと・自分」  
～夢を語り合い、仲間とともに価値あることを創造し、  
自らを問い直しながら粘り強くやり抜く大里柳っ子～  
○【やさしく】：夢を語り合い、お互いを尊重し合う子ども→自律・協働・創造の「種」  
○【かしくく】：仲間とともに価値あることを創造する子ども→協働・創造  
○【たくましく】：自らを問い直しながら粘り強くやり抜く子ども→自律

## 本年もよろしくお祈いします ～「子」年 十二支の始まり 目標をもち、自分を見つめて、協働で～

令和最初の年末、年始。よいお年を迎えられたことと拝察いたします。本年もよろしくお祈いいたします。

1月8日(水)に始業式を行い、令和元年度の第3学期がスタートしました。本校では、式の前に「何のために全体が集まるのか」その目的を学級で話し合ってから体育館に集まるようにしています。子どもたちはしっかりと心構えをつくり、始業式を迎えることができていました。聴く姿や校歌を歌う声、大変素晴らしい姿と心でした。

始業式では、まず、十二支とねずみ年の関係についての話をしました。十二支はそもそも植物の成長を表したもの(漢書「律曆史」(りつれきし)より)で、最初の「子」は特に生命の始まり、命の息吹という意味をもつそうです。新しい時代の最初の新学期にふさわしいですね。

また、今年、日本全体では東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。北九州市全体では、本市が東アジア文化都市に選ばれたことからアジアの国々と連携、協力しながら様々な文化的な取組が行われます。子どもたちがスポーツや文化に対して「みる・する・ささえる楽しみ」を体験し、感じてほしいと思います。

次に、3学期は、「学年のまとめ」と「進学、進級の準備」をする大切な学期であることを伝えました。一人一人が目標をもち、その目標に向かって、一日一日を大切に過ごしてほしいということを伝えました。そのために、お互いが力を合わせて感謝の気持ちや思いやりの心をもって過ごすことが大切であることを伝えました。

最後に、生徒指導担当、運営委員会担当の先生から、安全に気を付けて学校生活を送ること、大里柳小学校がずっと取り組んできている「あ(あいさつ)・な(なふだ)・た(ただしくそうじ)運動」をさらに頑張り、自分を大切に友達や周りの方々を思いやる心を大切にしてほしいということを、子どもたちに伝えました。その後の年始の大掃除では、一人一人が学校全体のために、頑張る姿が見られました。

これから寒さも厳しくなりますが、子どもたちにとって充実した学校生活を送ることができるように、職員一同、精一杯努力してまいります。本年も保護者の皆様や地域の方々のご支援をよろしくお願いいたします。



始業式に向け、体育館前で改めて心を整える子ども



「ただしく清掃」集中して黙々と清掃に取り組む子ども

## 体力向上の取組 ～握力・縄跳び・全校マラソントイム～

今年度の全国の体力テストの結果が年末に発表されました。北九州市の小学5年生、中学2年生の体力は、全国平均を上回っています。本校においても本年度は昨年度の課題であった「握力」に焦点化し、身近なもので遊びながら体力向上が図られるよう、ペットボトルと浮沈材(魚の形の醤油入れ)を用いた取組を行っています(体育館横に設置)。ご家庭でもつくれます。楽しみながら体力アップできそうです。意外と難しいですよ。また、この3学期には、巧緻性と持続性を高めるため、そして寒さに負けない強い体をつくるために、縄跳びと全校マラソントイムの取組を行います。特に縄跳びについては、1月28日(火)に本年度も「なわとびチャレンジデー」を設定(場所:体育館)しました。子どもたちの頑張りを応援していただくと幸いです。



楽しみながら体力アップの取組